

授業改善アンケートの結果報告（令和3年度）

三浦 弥生・高木 一代・菱田 博之・山下 梓・柄澤八代衣・山口 正之

The Report of Student Course Evaluation Results for 2021

Yayoi MIURA, Kazuyo TAKAGI, Hiroyuki HISHIDA, Azusa YAMASHITA

Yayoi KARASAWA and Masayuki YAMAGUCHI

要旨：これは本学がFD活動の一環として行った2021年度授業改善アンケートの結果報告である。全科目を対象とした学生の回答率の平均は66.9%であった。学生の学修、教員の教授、受講満足度は高い評価を得ていたが、学生の予習・復習への主体的な取り組みの評価は他と比して低い傾向にあった。また講義、実験・実習・演習、学外実習の順に授業の満足度が高くなる傾向にあり、講義で得た知識を実習で技能として定着させる主体的な学びが学生の授業の満足度に繋がっていると考えた。授業の満足度の観点からみると、講義では授業の分かりやすさや教材機器の有効的な活用と、学外実習では教員の配慮ある対応との関係があり、これは授業の質の向上への示唆に繋がるものであった。自由記載ではホワイトボードのマーカーの薄さに対する指摘があり、迅速に学修環境の改善を行った。これからもFD委員会として、授業の質の向上に資することのできる授業改善アンケートを実施していきたい。

Key words： 授業改善アンケート (Student Course Evaluation), FD活動 (Faculty Development), 学生の学修 (learning), 教員の教授 (teaching)

はじめに

2008年の大学設置基準の改正により大学におけるFD (Faculty Development) が義務化され、これに基づき本学でもFD委員会を組織し、FD活動を全学的に実施している。その活動の一つに学生による授業改善アンケートがあり、これにより学生の学修、教員の教授及び受講満足度を評価し、授業の質の向上を図っている。

FD委員会ではここ数年、授業改善アンケート方法の見直しを行ってきた。2019年度までは専任教員が担当している科目のうち1科目

以上に対して、中間授業改善アンケートと最終授業改善アンケートを実施し、授業改善の報告書をFD委員会に提出する方法を取ってきた。2020年度はそれに加え非常勤教員の科目においてもそれと同様に実施した。2021年度は全科目について授業最終回に授業改善アンケートを行うこととなり、Webを用いた授業アンケートを実施した。その各科目の結果は担当教員に返却し、学修成果評価表の提出という形をとり担当教員が授業の見直しを行っている。ここに報告するのはその授業改善アンケートの全体集計の結果である。

調査目的

教員における授業方法や内容、及び学生の授業内容の理解度や受講態度の振り返りを通して、本学における授業を核とした教育活動をよりよい方向へ発展させることに役立てるため、授業改善アンケートを実施する。（授業改善アンケート実施要項Ⅰ実施の目的より）

調査方法

1. 調査対象

本学で令和3年度開講した全科目（非常勤教員の科目も含む）を履修した学生

2. 調査期間

- 1) 前期：授業終了後から夏季休業終了後
(2021年7月16日～9月20日)
- 2) 後期：授業終了後から年度末休業終了後
(2022年1月21日～3月31日)

3. 調査・分析方法

1) アンケート内容

表1に授業形態別アンケート項目を示した。

アンケートの種類は授業形態に応じて「講義」「実験・実習・演習」「学外実習」とし、アンケートの項目は学生の学修を「学生自身」、教員の教授を「授業内容」、受講満足度を「授業全体」とした3項目とした。また、設問項目は「講義」「学外実習」では全14設問項目、「学外実習」では全13設問項目である。

アンケートの種類は、各科目の担当教員が「講義」「実験・実習・演習」「学外実習」の中から選択した。（詳細は<https://www.iidawjc.ac.jp/fd>参照）

2) 調査方法

右上にQRコードを示した。

各科目の担当教員が、授業最終回にその授



業を履修している学生にQRコードを提示し、学生が携帯端末でそのQRコードを読み取り、Webでアンケートの設問項目に回答した。Web調査の管理は㈱システムハウスハイネに委託した。

3) 集計

いずれの設問項目も4件法とし「あてはまる」4点、「まあまああてはまる」3点、「あまりあてはまらない」2点、「あてはまらない」1点とし、収集したデータを回答4件の順序尺度だけではなく1～4点の間隔尺度としても取り扱った。

(1) 個別集計

各科目の授業改善アンケート結果は、設問項目ごとに各科目の平均値と全体集計の平均値を示した表・グラフ及び自由記載について、授業改善アンケート結果(表2)を作成し、担当教員に返却した。また、この作成は㈱システムハウスハイネに委託した。なお、ここでの平均値は、担当教員が教務委員会に提出する学修成果評価表(表3)の根拠資料とすることができるようになっている。

(2) 集団集計

全体の授業改善アンケート結果は、㈱システムハウスハイネより授業改善アンケート結果をExcel出力したものの提出を受け、以下の①～④に対しExcel2016にて集計を行った。

表1 授業形態別アンケート設問項目

講義	実験・実習・演習	学外実習
[あなた自身について]	[あなた自身について]	[あなた自身について]
1.この講義にまじめに取り組んだ	1.この実験・実習・演習にまじめに取り組んだ	1.この実習にまじめに取り組んだ
2.事前にシラバスを読んでから講義に臨んだ	2.事前に予習してから実験・実習・演習に臨んだ	2.学生同士協力して実習を行うことができた
3.予習をしてから講義に臨んだ	3.学生同士協力して実験・実習・演習を行うことができた	3.毎日実習を振り返り、それを生かして実習を行うことができた
4.講義後に復習をした		4.今までの学習内容を活用しながら実習を行うことができた
[授業の内容について]	[授業の内容について]	[授業の内容について]
5.シラバスの説明通りの内容であった	4.実験・実習・演習の目的や目標が明確に示されていた	6.実習の目的・目標・課題の必要性を明確に説明していた
6.講義の内容は理解できた	5.実験・実習・演習は計画的に展開されていた	7.必要に応じてわかりやすくアドバイスや指導を行っていた
7.教員の説明はわかりやすかった	6.教員の説明はわかりやすかった	8.学生が実習先のスタッフと上手く関わられるよう配慮していた
8.黒板教科書、プリントやAV機器の使い方が効果的であった	7.実験・実習・演習の進捗や課題は、量・質ともに適切であった	9.学生の個別性にあわせて指導していた
9.教員は学生の質問や発言に適切に対応していた	8.実験・実習・演習の内容は理解できた	10.どの学生にも平等に接していた
10.教員の声の大きさやスピードは適切であった	9.教員は学生の質問や発言に適切に対応していた	
[授業全体について]	[授業全体について]	[授業全体について]
11.課題の内容や量は適切であった	10.教員は安全についての指導や配慮を十分にしていた	11.課題の内容や量は適切であった
12.この講義で得た内容は有用であった	11.この実験・実習・演習で得た内容は有用であった	12.この実習で得た内容は有用であった
13.シラバスの到達目標を達成できた	12.シラバスの到達目標を達成できた	13.シラバスの到達目標を達成できた
14.総合的にこの授業に満足している	13.総合的にこの授業に満足している	14.総合的にこの授業に満足している

表2 授業改善アンケート結果

授業改善アンケート結果		2021年度 前期					
【講義科目】							
No.							
授業科目名：		学科・専攻：					
担当教員名：		履修者数： 21名 回答者数： 20名					
設 問 内 容	4 あてはまる	3 まあまあ あてはまる	2 あまり あてはまらない	1 あてはま らない	この授業 の平均	講義科目 平均	
<あなた自身について>					3.20	3.05	
①この講義にまじめに取り組んだ	13	7	0	0	3.65	3.66	
②事前にシラバスを読んでから講義に臨んだ	8	6	5	1	3.05	3.05	
③予習をしてから講義に臨んだ	9	4	4	3	2.95	2.64	
④講義後に復習をした	10	5	3	2	3.15	2.85	
<授業の内容について>					3.68	3.61	
⑤シラバスの説明通りの内容であった	11	9	0	0	3.55	3.62	
⑥講義の内容は理解できた	15	5	0	0	3.75	3.54	
⑦教員の説明は分かりやすかった	16	4	0	0	3.80	3.59	
⑧黒板, 教科書, プリントやAV機器の使い方が効果的であった	14	6	0	0	3.70	3.62	
⑨教員は学生の質問や発言に適切に対応していた	14	6	0	0	3.70	3.65	
⑩教員の声の大きさやスピードが適切であった	12	7	1	0	3.55	3.63	
<授業全体を通して>					3.66	3.62	
⑪課題の内容や量は適切であった	14	5	1	0	3.65	3.61	
⑫この講義で得た内容は有用であった	16	4	0	0	3.80	3.71	
⑬シラバスの到達目標を達成できた	9	10	1	0	3.40	3.55	
⑭総合的にこの授業に満足している	16	4	0	0	3.80	3.63	
					全平均	3.54 3.45	

<あなた自身について>

—■— この授業の平均
..... 講義科目平均

①まじめに取り組む
②事前にシラバスを読んだ
③予習
④復習

<授業の内容について>

—■— この授業の平均
..... 講義科目平均

⑤シラバス通り
⑥内容の理解
⑦教員の説明
⑧黒板, 教科書, プリントやAV機器
⑨質問や発言への対応
⑩声の大きさやスピード

<授業全体を通して>

—■— この授業の平均
..... 講義科目平均

⑪課題の適切さ
⑫内容の有用性
⑬シラバスの到達目標の達成
⑭総合的に満足

- ①学科専攻別・設問項目別の割合比較
- ②設問項目「授業にまじめに取り組んだ」の講義形態別・学科専攻別の割合比較
- ③設問項目「総合的に満足している」の講義形態別・学科専攻別の割合比較
- ④設問項目間の相関係数の比較

但し、相関係数に相関があるか否かの判定には簡便法¹⁾を用い、以下に示す式（ r は相関係数）が成り立つ場合に相関があると判定し、結果にある相関係数に相関があることを確認している。

$$r^2 > \frac{4}{(\text{データ数}+2)}$$

なお、①～④の集計にあたっては、家政専攻と食物栄養専攻の両方に跨る科目については双方にデータを加算する。また、専攻科である地域看護学専攻と助産学専攻は看護学科に、養護教育学科は家政専攻のデータとして集計する。

- ⑤自由記載は学修環境の改善として取り扱う必要のある内容のみを取り上げる

4. 倫理的配慮

このWebを用いた授業改善アンケートは、

学生個人を認識できるシステムではなく、個別集計及び集団集計いずれにおいても学生個人を特定することはできない。また、この授業改善アンケート回答の冒頭に趣旨説明があり、アンケートへの回答をもって授業改善アンケート集計への同意を得たものとした。

結 果

1) 回答率

学科専攻・基礎教養別の回答率を表4に示す。

回答率の平均値±標準偏差は全体では66.9±27.7%であり、介護福祉専攻が85.8±11.8%と最も高く、中央値も91.3%であった。レンジをみると看護学科98.1%と介護福祉専攻の47.8%には50.3%の差があり、回答率は学科専攻によって違いがある。また、回答率の最大値がいずれの学科専攻とも100%であるが、最小値には1.9～52.2%の開きがあり、回答率には学科専攻の違い以外にも、科目による違いがあると言える。

常勤・非常勤別の回答率を表5に示す。

回答率の平均値±標準偏差は専任教員67.3±28.4%、非常勤教員65.2±24.8%である。平均の差をみるため対応のないt検定を行っ

表4 回答率 [学科専攻・基礎教養別]

	全体	基礎教養	家政専攻	介護福祉専攻	食物栄養専攻	幼児教育学科	看護学科
回答数(人)	7398	1125	1160※	876	845※	1882	1566
回答率(%)							
平均値	66.9	66.7	78.3	85.8	54.4	77.5	49.1
標準偏差	27.7	23.4	22.7	11.8	26.8	17.0	30.1
中央値	73.7	71.1	85.7	91.3	58.5	82.7	50.0
75パーセンタイル	88.6	86.0	100	95.7	74.1	87.5	67.0
25パーセンタイル	50.0	50.0	63.1	78.3	34.3	74.9	20.7
四分位範囲	38.6	36.0	36.9	17.4	39.8	12.6	46.3
最大値	100	100	100	100	100	100	100
最小値	1.9	14.3	21.1	52.2	5.9	2.5	1.9
レンジ	98.1	85.7	78.9	47.8	94.1	97.5	98.1

※但し、家政・食物栄養にまたがる科目の結果については重複して計算している。

表5 回答率〔専任・非常勤教員別〕

教員数(人)	専任教員 非常勤教員		t値※	p値
	316	92		
回答率(%)				
平均値	67.3	65.2	0.639	0.523
標準偏差	28.4	24.8		
中央値	75.0	69.5		
75パーセンタイル	89.9	84.4		
25パーセンタイル	50.0	47.3		
四分位範囲	39.9	37.1		
最大値	100	100		
最小値	1.9	5.9		
レンジ	98.1	94.1		

※対応のないt検定

た. 有意水準5%とした場合, 専任教員と非常勤教員の担当科目の回答率の平均値に統計学的な有意差はなく ($t(406)=0.639$, $p=0.523$), 専任教員と非常勤教員の担当科目における回答率には差がないといえる.

2) アンケート結果

(1) 学科専攻別・設問項目別の割合比較

講義

まず, 表6に講義の学生自身の取り組みについて, 学科専攻・基礎教養別の集計結果を示す。「この講義にまじめに取り組んだ」とする回答は, 「あてはまる」「まあまああてはまる」を合わせると学科専攻・基礎教養別のいずれも9割を超えている。しかし, 「予習してから講義に臨んだ」は53.8%, 「講義後に復習した」は67.0%であり, 学科専攻・基礎教養別で最も高かったのは, 看護学科の「予習してから講義に臨んだ」の67.4%, 「講義後に復習した」の78.7%であった。

次に, 表7に講義の授業内容について, 学科専攻・基礎教養別の集計結果を示す。授業内容をみる6設問項目「シラバスの説明通

りの内容であった」「講義の内容は理解できた」「教員の説明は分かりやすかった」「黒板, 教科書, プリントやAV機器の使い方が効果的であった」「教員は学生の質問や発言に適切に対応していた」「教員の声の大きさやスピードが適切であった」のいずれも, 9割以上の学生が「あてはまる」「まあまああてはまる」と回答していた。特に「講義の内容は理解できた」「教員の説明は分かりやすかった」に対し「あてはまる」と回答した割合をみると, 全体割合「講義の内容は理解できた」59.7%, 「教員の説明は分かりやすかった」65.5%より高かったのは, 介護福祉専攻の「講義の内容は理解できた」68.7%, 「教員の説明は分かりやすかった」75.7%, 幼児教育学科の「講義の内容は理解できた」71.2%, 「教員の説明は分かりやすかった」73.8%であった。また, 「黒板, 教科書, プリントやAV機器の使い方が効果的であった」「教員は学生の質問や発言に適切に対応していた」「教員の声の大きさやスピードが適切であった」について, 「あてはまる」と回答した全体割合がいずれも7割未満であるが, 介護福祉専攻, 幼児教育専攻においては「黒板, 教科書, プリントやAV機器の使い方が効果的であった」「教員は学生の質問や発言に適切に対応していた」「教員の声の大きさやスピードが適切であった」のいずれにも「あてはまる」と回答した割合が7割以上であった。

最後に, 表8に講義の授業全体について, 学科専攻・基礎教養別の集計結果を示す。授業全体をみる4項目「課題の内容は適切であった」「この講義で得た内容は有用であった」「シラバスの到達目標を達成できた」「総合的にこの授業に満足している」では, 9割以上の学生が「あてはまる」「まあまああてはまる」と回答していた。

表6 講義〔学生自身：学科専攻・基礎教養別〕

項目	全体		基礎教養		家政専攻		介護福祉専攻		食物栄養専攻		幼児教育学科		看護学科	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
学生自身	4093		586		733		485		505		507		1333	
この講義にまじめに取り組んだ														
あてはまらない	16	(0.4)	7	(1.2)	5	(0.7)	0	(0)	2	(0.4)	1	(0.2)	1	(0.1)
あまりあてはまらない	68	(1.7)	18	(3.1)	15	(2.0)	8	(1.6)	9	(1.8)	5	(1.0)	13	(1.0)
まあまああてはまる	1236	(30.2)	208	(35.5)	223	(30.4)	119	(24.5)	203	(40.2)	131	(25.8)	369	(27.7)
あてはまる	2773	(67.7)	353	(60.2)	490	(66.8)	358	(73.8)	291	(57.6)	370	(73.0)	950	(71.3)
事前にシラバスを読んでから講義に臨んだ														
あてはまらない	295	(7.2)	58	(9.9)	66	(9.0)	20	(4.1)	35	(6.9)	62	(12.2)	57	(4.3)
あまりあてはまらない	766	(18.7)	132	(22.5)	138	(18.8)	78	(16.1)	116	(23.0)	121	(23.9)	191	(14.3)
まあまああてはまる	1355	(33.1)	188	(32.1)	255	(34.8)	137	(28.2)	210	(41.6)	117	(23.1)	473	(35.5)
あてはまる	1677	(41.0)	208	(35.5)	274	(37.4)	250	(51.5)	144	(28.5)	207	(40.8)	612	(45.9)
予習をしてから講義に臨んだ														
あてはまらない	576	(14.1)	127	(21.7)	165	(22.5)	48	(9.9)	49	(9.7)	83	(16.4)	112	(8.4)
あまりあてはまらない	1315	(32.1)	208	(35.5)	284	(38.7)	146	(30.1)	186	(36.8)	192	(37.9)	323	(24.2)
まあまああてはまる	1143	(27.9)	142	(24.2)	164	(22.4)	164	(33.8)	174	(34.5)	108	(21.3)	405	(30.4)
あてはまる	1059	(25.9)	109	(18.6)	120	(16.4)	127	(26.2)	96	(19.0)	124	(24.5)	493	(37.0)
講義後に復習をした														
あてはまらない	365	(8.9)	104	(17.7)	103	(14.1)	25	(5.2)	22	(4.4)	56	(11.0)	60	(4.5)
あまりあてはまらない	983	(24.0)	175	(29.9)	212	(28.9)	117	(24.1)	111	(22.0)	158	(31.2)	225	(16.9)
まあまああてはまる	1545	(37.7)	179	(30.5)	261	(35.6)	190	(39.2)	254	(50.3)	154	(30.4)	530	(39.8)
あてはまる	1200	(29.3)	128	(21.8)	157	(21.4)	153	(31.5)	118	(23.4)	139	(27.4)	518	(38.9)

表7 講義 [授業内容：学科専攻・基礎教養別]

項目	全体		基礎教養		家政専攻		介護福祉専攻		食物栄養専攻		幼児教育学科		看護学科	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
授業内容	4093		586		733		485		505		507		1333	
シラバスの説明通りの内容であった														
あてはまらない	31	(0.8)	9	(1.5)	9	(1.2)	2	(0.4)	3	(0.6)	6	(1.2)	2	(0.2)
あまりあてはまらない	87	(2.1)	14	(2.4)	11	(1.5)	6	(1.2)	15	(3.0)	11	(2.2)	30	(2.3)
まあまああてはまる	1322	(32.3)	216	(36.9)	282	(38.5)	107	(22.1)	192	(38.0)	144	(28.4)	399	(29.9)
あてはまる	2653	(64.8)	347	(59.2)	431	(58.8)	370	(76.3)	295	(58.4)	346	(68.2)	902	(67.7)
講義の内容は理解できた														
あてはまらない	52	(1.3)	15	(2.6)	11	(1.5)	2	(0.4)	5	(1.0)	2	(0.4)	17	(1.3)
あまりあてはまらない	198	(4.8)	36	(6.1)	37	(5.0)	15	(3.1)	24	(4.8)	12	(2.4)	74	(5.6)
まあまああてはまる	1398	(34.2)	224	(38.2)	255	(34.8)	135	(27.8)	217	(43.0)	132	(26.0)	454	(34.1)
あてはまる	2445	(59.7)	311	(53.1)	430	(58.7)	333	(68.7)	259	(51.3)	361	(71.2)	788	(59.1)
教員の説明は分かりやすかった														
あてはまらない	55	(1.3)	17	(2.9)	12	(1.6)	2	(0.4)	3	(0.6)	2	(0.4)	19	(1.4)
あまりあてはまらない	193	(4.7)	45	(7.7)	25	(3.4)	14	(2.9)	20	(4.0)	10	(2.0)	79	(5.9)
まあまああてはまる	1166	(28.5)	210	(35.8)	206	(28.1)	102	(21.0)	176	(34.9)	121	(23.9)	365	(27.4)
あてはまる	2679	(65.5)	314	(53.6)	490	(66.8)	367	(75.7)	306	(60.6)	374	(73.8)	870	(65.3)
黒板、教科書、プリントやAV機器の使い方が効果的であった														
あてはまらない	50	(1.2)	20	(3.4)	8	(1.1)	1	(0.2)	5	(1.0)	2	(0.4)	14	(1.1)
あまりあてはまらない	160	(3.9)	40	(6.8)	21	(2.9)	13	(2.7)	20	(4.0)	11	(2.2)	55	(4.1)
まあまああてはまる	1151	(28.1)	196	(33.4)	213	(29.1)	121	(24.9)	168	(33.3)	108	(21.3)	360	(27.0)
あてはまる	2732	(66.7)	330	(56.3)	491	(67.0)	350	(72.2)	312	(61.8)	386	(76.1)	904	(67.8)
教員は学生の質問や発言に適切に対応していた														
あてはまらない	41	(1.0)	19	(3.2)	5	(0.7)	1	(0.2)	1	(0.2)	4	(0.8)	11	(0.8)
あまりあてはまらない	116	(2.8)	41	(7.0)	18	(2.5)	5	(1.0)	10	(2.0)	8	(1.6)	34	(2.6)
まあまああてはまる	1083	(26.5)	208	(35.5)	185	(25.2)	107	(22.1)	148	(29.3)	107	(21.1)	338	(25.4)
あてはまる	2853	(69.7)	318	(54.3)	525	(71.6)	372	(76.7)	346	(68.5)	388	(76.5)	950	(71.3)
教員の声の大きさやスピードが適切であった														
あてはまらない	30	(0.7)	7	(1.2)	7	(1.0)	2	(0.4)	2	(0.4)	1	(0.2)	11	(0.8)
あまりあてはまらない	173	(4.2)	50	(8.5)	30	(4.1)	8	(1.6)	13	(2.6)	8	(1.6)	64	(4.8)
まあまああてはまる	1075	(26.3)	192	(32.8)	167	(22.8)	102	(21.0)	156	(30.9)	110	(21.7)	359	(26.9)
あてはまる	2815	(68.8)	337	(57.5)	529	(72.2)	373	(76.9)	334	(66.1)	388	(76.5)	899	(67.4)

表8 講義「授業全体：学科専攻・基礎教養別」

項目	全体		基礎教養		家政専攻		介護福祉専攻		食物栄養専攻		幼児教育学専攻		看護学科	
	n (%)	4093	n (%)	586	n (%)	733	n (%)	485	n (%)	505	n (%)	507	n (%)	1333
授業全体														
課題の内容は適切であった		回答数												
あてはまらない	44 (1.1)		6 (1.0)		10 (1.4)		1 (0.2)		6 (1.2)		3 (0.6)		18 (1.4)	
あまりあてはまらない	170 (4.2)		35 (6.0)		32 (4.4)		6 (1.2)		25 (5.0)		4 (0.8)		68 (5.1)	
まあまああてはまる	1125 (27.5)		211 (36.0)		198 (27.0)		113 (23.3)		166 (32.9)		101 (19.9)		347 (26.0)	
あてはまる	2754 (67.3)		334 (57.0)		493 (67.3)		365 (75.3)		308 (61.0)		399 (78.7)		900 (67.5)	
この講義で得た内容は有用であった														
あてはまらない	25 (0.6)		7 (1.2)		6 (0.8)		1 (0.2)		3 (0.6)		3 (0.6)		5 (0.4)	
あまりあてはまらない	74 (1.8)		23 (3.9)		8 (1.1)		4 (0.8)		5 (1.0)		10 (2.0)		24 (1.8)	
まあまああてはまる	996 (24.3)		202 (34.5)		164 (22.4)		88 (18.1)		138 (27.3)		87 (17.2)		330 (24.8)	
あてはまる	2998 (73.2)		354 (60.4)		555 (75.7)		392 (80.8)		359 (71.1)		407 (80.3)		974 (73.1)	
シラバスの到達目標を達成できた														
あてはまらない	34 (0.8)		8 (1.4)		6 (0.8)		1 (0.2)		2 (0.4)		5 (1.0)		12 (0.9)	
あまりあてはまらない	120 (2.9)		26 (4.4)		16 (2.2)		7 (1.4)		12 (2.4)		15 (3.0)		44 (3.3)	
まあまああてはまる	1483 (36.2)		238 (40.6)		292 (39.8)		122 (25.2)		236 (46.7)		160 (31.6)		458 (34.4)	
あてはまる	2456 (60.0)		314 (53.6)		419 (57.2)		355 (73.2)		255 (50.5)		327 (64.5)		819 (61.4)	
総合的にこの授業に満足している														
あてはまらない	47 (1.1)		11 (1.9)		11 (1.5)		3 (0.6)		5 (1.0)		4 (0.8)		13 (1.0)	
あまりあてはまらない	135 (3.3)		43 (7.3)		15 (2.0)		11 (2.3)		16 (3.2)		7 (1.4)		43 (3.2)	
まあまああてはまる	1131 (27.6)		220 (37.5)		195 (26.6)		100 (20.6)		166 (32.9)		97 (19.1)		365 (27.4)	
あてはまる	2780 (67.9)		312 (53.2)		512 (69.8)		371 (76.5)		318 (63.0)		399 (78.7)		912 (68.4)	

実験・実習・演習

まず、表9に実験・実習・演習の学生自身の取り組みについて、学科専攻・基礎教養別の集計結果を示す。学生自身の取り組みをみる3設問項目をみると、「この実験・実習・演習にまじめにとりくんだ」「学生同士協力して実験・実習・演習を行うことができた」に対し「あてはまる」と回答した割合は全体で8割を超え、学科専攻・基礎教養別で8割を超えているのは「この実験・実習・演習にまじめにとりくんだ」では介護福祉専攻、幼児教育学科及び看護学科であり、「学生同士協力して実験・実習・演習を行うことができた」では幼児教育学科及び看護学科であった。「事前に予習してから実験・実習・演習に臨んだ」で「あてはまる」と回答した割合は全体で4割であり、講義同様に予習をしてから授業に臨む割合は低かった。

次に、表10に実験・実習・演習の授業内容について、学科専攻・基礎教養別の集計結果を示す。授業内容をみる6設問項目に、いずれも「あてはまる」と回答した全体の割合は7割以上であった。設問項目別に「あてはまる」と回答した割合が8割以上の学科専攻は、「実験・実習・演習の目的や目標が明確に示されていた」では介護福祉専攻及び幼児教育学科、「実験・実習・演習は計画的に実施されていた」では介護福祉専攻、「教員の説明は分かりやすかった」では家政専攻及び介護福祉専攻、「教員は学生の質問や発言に適切に対応していた」では家政専攻、介護福祉専攻及び幼児教育学科であった。

最後に、表11に実験・実習・演習の授業全体について、学科専攻・基礎教養別の集計結果を示す。授業全体をみる4設問項目について、全体割合より高い割合を示す学科専攻等を設問項目別にみると、「教員は安全についての指導や配慮を十分にしていた」「この実験・実習・演習で得た内容は有用であった」「シラバスの到達目標を達成できた」「総合的

にこの授業に満足している」いずれの設問項目においても、家政専攻、介護福祉専攻及び幼児教育学科が全体割合より高値であった。

学外実習

まず、表12に学外実習の学生自身の取り組みについて、学科専攻別の集計結果を示す。学生自身の取り組みをみる5設問項目について、「あてはまる」と回答した割合が最も高い学科専攻を設問項目別にみると、「この実習にまじめに取り組んだ」「学生同士協力して実習を行うことができた」「毎日実習を振り返り、それを生かして実習を行うことができた」「今までの学習内容を活用しながら実習を行うことができた」「実習の内容が理解できた」のいずれの設問項目も幼児教育学科の割合が最も高かった。

次に、表13に学外実習の授業内容について、学科専攻別の集計結果を示す。授業内容をみる5設問項目で「あてはまる」と回答した割合が8割以上の学科専攻をみると、「実習の目的・目標・課題お必要性を明確に説明していた」「必要に応じてわかりやすくアドバイスや指導を行っていた」「学生が実習先スタッフと上手に関われるよう配慮していた」「学生の個性にあわせて指導していた」「どの学生にも平等に接していた」いずれも8割以上だった学科専攻は家政専攻であった。

最後に、表14に学外実習の授業全体について、学科専攻別の集計結果を示す。授業全体をみる4設問項目で「あてはまる」と回答した割合が8割以上の学科専攻をみると、「課題の内容や量は適切であった」「この実習で得た内容は有用であった」「シラバスの到達できた」「総合的にこの実習に満足している」のいずれの設問項目も8割以上であったのは家政専攻と幼児教育学科であった。そのうち、家政専攻においては「この実習で得た内容は有用であった」に「あてはまる」と回答した割合は92.3%と最も高値であった。

表9 実験・実習・演習 [学生自身：学科専攻・基礎教養別]

項目	全体		基礎教養		家政専攻		介護福祉専攻		食物栄養専攻		幼児教育学科		看護学科	
	回答数	2849	539	401	306	298	1186	119						
学生自身	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	
この実験・実習・演習にまじめに取り組んだ		8 (0.3)	2 (0.4)	1 (0.2)	1 (0.33)	1 (0.3)	3 (0.3)	0 (0)						
あてはまらない		21 (0.7)	4 (0.7)	4 (1.0)	2 (0.7)	4 (1.3)	5 (0.4)	2 (1.7)						
あまりありあてはまらない		523 (18.4)	121 (22.4)	79 (19.7)	46 (15.0)	84 (28.2)	173 (14.6)	20 (16.8)						
まあまああてはまる		2297 (80.6)	412 (76.4)	317 (79.1)	257 (84.0)	209 (70.1)	1005 (84.7)	97 (81.5)						
事前に予習をしてから実験・実習・演習に臨んだ		203 (7.1)	69 (12.8)	43 (10.7)	13 (4.2)	12 (4.0)	66 (5.6)	0 (0)						
あてはまらない		517 (18.1)	109 (20.2)	90 (22.4)	58 (19.0)	62 (20.8)	194 (16.4)	4 (3.4)						
あまりありあてはまらない		871 (30.6)	174 (32.3)	114 (28.4)	105 (34.3)	135 (45.3)	307 (25.9)	36 (30.3)						
まあまああてはまる		1258 (44.2)	187 (34.7)	154 (38.4)	130 (42.5)	89 (29.9)	619 (52.2)	79 (66.4)						
学生同士協力して実験・実習・演習を行うことができた		14 (0.5)	7 (1.3)	3 (0.7)	0 (0)	1 (0.3)	3 (0.3)	0 (0)						
あてはまらない		48 (1.7)	7 (1.3)	12 (3.0)	4 (1.3)	10 (3.4)	14 (1.2)	1 (0.8)						
あまりありあてはまらない		508 (17.8)	110 (20.4)	92 (22.9)	58 (19.0)	63 (21.1)	164 (13.8)	21 (17.6)						
まあまああてはまる		2279 (80.0)	415 (77.0)	294 (73.3)	244 (79.7)	224 (75.2)	1005 (84.7)	97 (81.5)						

表10 実験・実習・演習 [授業内容：学科専攻・基礎教養別]

項目	全体		基礎教養		家政専攻		介護福祉専攻		食物栄養専攻		幼児教育学科		看護学科	
	2849	539	401	306	298	1186	119	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	
授業内容	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	
実験・実習・演習の目的や目標が明確に示されていた	11 (0.4)	4 (0.7)	1 (0.2)	0 (0)	3 (1.0)	3 (0.3)	0 (0)	3 (1.0)	3 (1.0)	3 (0.3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
あてはまらない	32 (1.1)	12 (2.2)	4 (1.0)	2 (0.7)	7 (2.3)	6 (0.5)	1 (0.8)	7 (2.3)	7 (2.3)	6 (0.5)	1 (0.8)	1 (0.8)	1 (0.8)	
あまりありあてはまらない	629 (22.1)	150 (27.8)	76 (19.0)	56 (18.3)	97 (32.6)	221 (18.6)	29 (24.4)	97 (32.6)	97 (32.6)	221 (18.6)	29 (24.4)	29 (24.4)	29 (24.4)	
まあまああてはまる	2177 (76.4)	373 (69.2)	320 (79.8)	248 (81.0)	191 (64.1)	956 (80.6)	89 (74.8)	191 (64.1)	191 (64.1)	956 (80.6)	89 (74.8)	89 (74.8)	89 (74.8)	
あてはまる														
実験・実習・演習は計画的に展開されていた	13 (0.5)	2 (0.4)	1 (0.2)	0 (0)	4 (1.3)	4 (0.3)	2 (1.7)	4 (1.3)	4 (1.3)	4 (0.3)	2 (1.7)	2 (1.7)	2 (1.7)	
あてはまらない	37 (1.3)	12 (2.2)	4 (1.0)	2 (0.7)	4 (1.3)	10 (0.8)	5 (4.2)	4 (1.3)	4 (1.3)	10 (0.8)	5 (4.2)	5 (4.2)	5 (4.2)	
あまりありあてはまらない	617 (21.7)	143 (26.5)	78 (19.5)	47 (15.4)	86 (28.9)	225 (19.0)	38 (31.9)	86 (28.9)	86 (28.9)	225 (19.0)	38 (31.9)	38 (31.9)	38 (31.9)	
まあまああてはまる	2182 (76.6)	382 (70.9)	318 (79.3)	257 (84.0)	204 (68.5)	947 (79.8)	74 (62.2)	204 (68.5)	204 (68.5)	947 (79.8)	74 (62.2)	74 (62.2)	74 (62.2)	
あてはまる														
教員の説明は分かりやすかった	20 (0.7)	5 (0.9)	4 (1.0)	0 (0)	6 (2.0)	4 (0.3)	1 (0.8)	6 (2.0)	6 (2.0)	4 (0.3)	1 (0.8)	1 (0.8)	1 (0.8)	
あてはまらない	73 (2.6)	17 (3.2)	7 (1.7)	5 (1.6)	16 (5.4)	18 (1.5)	10 (8.4)	16 (5.4)	16 (5.4)	18 (1.5)	10 (8.4)	10 (8.4)	10 (8.4)	
あまりありあてはまらない	689 (24.2)	182 (33.8)	66 (16.5)	55 (18.0)	97 (32.6)	245 (20.7)	44 (37.0)	97 (32.6)	97 (32.6)	245 (20.7)	44 (37.0)	44 (37.0)	44 (37.0)	
まあまああてはまる	2067 (72.6)	335 (62.2)	324 (80.8)	246 (80.4)	179 (60.1)	919 (77.5)	64 (53.8)	179 (60.1)	179 (60.1)	919 (77.5)	64 (53.8)	64 (53.8)	64 (53.8)	
あてはまる														
実験・実習・演習の進度や課題は、量・質ともに適切であった	20 (0.7)	4 (0.7)	4 (1.0)	0 (0)	4 (1.3)	6 (0.5)	2 (1.7)	4 (1.3)	4 (1.3)	6 (0.5)	2 (1.7)	2 (1.7)	2 (1.7)	
あてはまらない	84 (2.9)	18 (3.3)	15 (3.7)	2 (0.7)	31 (10.4)	10 (0.8)	8 (6.7)	31 (10.4)	31 (10.4)	10 (0.8)	8 (6.7)	8 (6.7)	8 (6.7)	
あまりありあてはまらない	676 (23.7)	147 (27.3)	79 (19.7)	62 (20.3)	102 (34.2)	238 (20.1)	48 (40.3)	102 (34.2)	102 (34.2)	238 (20.1)	48 (40.3)	48 (40.3)	48 (40.3)	
まあまああてはまる	2069 (72.6)	370 (68.6)	303 (75.6)	242 (79.1)	161 (54.0)	932 (78.6)	61 (51.3)	161 (54.0)	161 (54.0)	932 (78.6)	61 (51.3)	61 (51.3)	61 (51.3)	
あてはまる														
実験・実習・演習の内容は理解できた	15 (0.5)	5 (0.9)	2 (0.5)	2 (0.7)	2 (0.7)	3 (0.3)	1 (0.8)	2 (0.7)	2 (0.7)	3 (0.3)	1 (0.8)	1 (0.8)	1 (0.8)	
あてはまらない	44 (1.5)	11 (2.0)	5 (1.2)	2 (0.7)	11 (3.7)	8 (0.7)	7 (5.9)	11 (3.7)	11 (3.7)	8 (0.7)	7 (5.9)	7 (5.9)	7 (5.9)	
あまりありあてはまらない	698 (24.5)	161 (29.9)	97 (24.2)	66 (21.6)	112 (37.6)	227 (19.1)	35 (29.4)	112 (37.6)	112 (37.6)	227 (19.1)	35 (29.4)	35 (29.4)	35 (29.4)	
まあまああてはまる	2092 (73.4)	362 (67.2)	297 (74.1)	236 (77.1)	173 (58.1)	948 (79.9)	76 (63.9)	173 (58.1)	173 (58.1)	948 (79.9)	76 (63.9)	76 (63.9)	76 (63.9)	
あてはまる														
教員は学生の質問や発言に適切に対応していた	19 (0.7)	3 (0.6)	6 (1.5)	0 (0)	3 (1.0)	4 (0.3)	3 (2.5)	3 (1.0)	3 (1.0)	4 (0.3)	3 (2.5)	3 (2.5)	3 (2.5)	
あてはまらない	34 (1.2)	7 (1.3)	3 (0.7)	2 (0.7)	7 (2.3)	8 (0.7)	7 (5.9)	7 (2.3)	7 (2.3)	8 (0.7)	7 (5.9)	7 (5.9)	7 (5.9)	
あまりありあてはまらない	587 (20.6)	153 (28.4)	66 (16.5)	47 (15.4)	79 (26.5)	210 (17.7)	32 (26.9)	79 (26.5)	79 (26.5)	210 (17.7)	32 (26.9)	32 (26.9)	32 (26.9)	
まあまああてはまる	2209 (77.5)	376 (69.8)	326 (81.3)	257 (84.0)	209 (70.1)	964 (81.3)	77 (64.7)	209 (70.1)	209 (70.1)	964 (81.3)	77 (64.7)	77 (64.7)	77 (64.7)	
あてはまる														

表11 実験・実習・演習 [授業全体：学科専攻・基礎教養別]

項目	全体		基礎教養		家政専攻		介護福祉専攻		食物栄養専攻		幼児教育学科		看護学科	
	回答数	2849	539	401	306	298	1186	119						
授業全体	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	
教員は安全についての指導や配慮を十分にしていた														
あてはまらない	11 (0.4)	2 (0.4)	2 (0.5)	0 (0)	2 (0.7)	4 (0.3)	1 (0.8)							
あまりあてはまらない	22 (0.8)	7 (1.3)	2 (0.5)	4 (1.3)	3 (1.0)	3 (0.3)	3 (2.5)							
まあまああてはまる	489 (17.2)	122 (22.6)	56 (14.0)	45 (14.7)	61 (20.5)	175 (14.8)	30 (25.2)							
あてはまる	2327 (81.7)	408 (75.7)	341 (85.0)	257 (84.0)	232 (77.9)	1004 (84.7)	85 (71.4)							
この実験・実習・演習で得た内容は有用であった														
あてはまらない	9 (0.3)	2 (0.4)	2 (0.5)	1 (0.3)	1 (0.3)	3 (0.3)	0 (0)							
あまりあてはまらない	12 (0.4)	4 (0.7)	2 (0.5)	1 (0.3)	1 (0.3)	3 (0.3)	1 (0.8)							
まあまああてはまる	513 (18.0)	152 (28.2)	58 (14.5)	54 (17.6)	76 (25.5)	144 (12.1)	29 (24.4)							
あてはまる	2315 (81.3)	381 (70.7)	339 (84.5)	250 (81.7)	220 (73.8)	1036 (87.4)	89 (74.8)							
シラバスの到達目標を達成できた														
あてはまらない	13 (0.5)	3 (0.6)	2 (0.5)	0 (0)	1 (0.3)	7 (0.6)	0 (0)							
あまりあてはまらない	33 (1.2)	6 (1.1)	6 (1.5)	2 (0.7)	6 (2.0)	10 (0.8)	3 (2.5)							
まあまああてはまる	789 (27.7)	183 (34.0)	99 (24.7)	69 (22.5)	121 (40.6)	270 (22.8)	47 (39.5)							
あてはまる	2014 (70.7)	347 (64.4)	294 (73.3)	235 (76.8)	170 (57.0)	899 (75.8)	69 (58.0)							
総合的にこの授業に満足している														
あてはまらない	16 (0.6)	3 (0.6)	5 (1.2)	1 (0.3)	4 (1.3)	3 (0.3)	0 (0)							
あまりあてはまらない	28 (1.0)	9 (1.7)	4 (1.0)	2 (0.7)	6 (2.0)	3 (0.3)	4 (3.4)							
まあまああてはまる	605 (21.2)	158 (29.3)	64 (16.0)	52 (17.0)	105 (35.2)	191 (16.1)	35 (29.4)							
あてはまる	2200 (77.2)	369 (68.5)	328 (81.8)	251 (82.0)	183 (61.4)	989 (83.4)	80 (67.2)							

表12 学外実習 [学生自身：学科専攻別]

項目	全体		家政専攻		介護福祉専攻		食物栄養専攻		幼児教育学専攻		看護学科	
	n (%)	460	n (%)	26	n (%)	85	n (%)	42	n (%)	193	n (%)	114
学生自身	回答数											
この実習にまじめに取り組んだ												
あてはまらない	1 (0.2)		1 (3.8)		0 (0)		0 (0)		0 (0)		0 (0)	
あまりあてはまらない	3 (0.7)		0 (0)		2 (2.4)		0 (0)		0 (0)		1 (0.9)	
まあまああてはまる	62 (13.5)		2 (7.7)		10 (11.8)		15 (35.7)		18 (9.3)		17 (14.9)	
あてはまる	394 (85.7)		23 (88.5)		73 (85.9)		27 (64.3)		175 (90.7)		96 (84.2)	
学生同協力して実習を行うことができた												
あてはまらない	4 (0.9)		1 (3.8)		1 (1.2)		2 (4.8)		0 (0)		0 (0)	
あまりあてはまらない	3 (0.7)		0 (0)		0 (0)		0 (0)		2 (1.0)		1 (0.9)	
まあまああてはまる	67 (14.6)		2 (7.7)		17 (20.0)		10 (23.8)		21 (10.9)		17 (14.9)	
あてはまる	386 (83.9)		23 (88.5)		67 (78.8)		30 (71.4)		170 (88.1)		96 (84.2)	
毎日実習を振り返り、それを生かして実習を行うことができた												
あてはまらない	3 (0.7)		1 (3.8)		0 (0)		1 (2.4)		1 (0.5)		0 (0)	
あまりあてはまらない	6 (1.3)		0 (0)		1 (1.2)		2 (4.8)		1 (0.5)		2 (1.8)	
まあまああてはまる	93 (20.2)		3 (11.5)		21 (24.7)		19 (45.2)		22 (11.4)		28 (24.6)	
あてはまる	358 (77.8)		22 (84.6)		63 (74.1)		20 (47.6)		169 (87.6)		84 (73.7)	
今までの学習内容を活用しながら実習を行うことができた												
あてはまらない	3 (0.7)		1 (3.8)		0 (0)		1 (2.4)		1 (0.5)		0 (0)	
あまりあてはまらない	8 (1.7)		0 (0)		1 (1.2)		1 (2.4)		1 (0.5)		5 (4.4)	
まあまああてはまる	102 (22.2)		5 (19.2)		24 (28.2)		16 (38.1)		24 (12.4)		33 (28.9)	
あてはまる	347 (75.4)		20 (76.9)		60 (70.6)		24 (57.1)		167 (86.5)		76 (66.7)	
実習の内容が理解できた (オリエンテーション、指導等から)												
あてはまらない	2 (0.4)		1 (3.8)		0 (0)		1 (2.4)		0 (0)		0 (0)	
あまりあてはまらない	9 (2.0)		0 (0)		1 (1.2)		1 (2.4)		0 (0)		7 (6.1)	
まあまああてはまる	100 (21.7)		4 (15.4)		25 (29.4)		17 (40.5)		24 (12.4)		30 (26.3)	
あてはまる	349 (75.9)		21 (80.8)		59 (69.4)		23 (54.8)		169 (87.6)		77 (67.5)	

表13 学外実習 [授業内容：学科専攻別]

項目	全体		家政専攻		介護福祉専攻		食物栄養専攻		幼児教育学専攻		看護学科	
	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
授業内容	460	26	85	42	193	114						
実習の目的・目標・課題の必要性を明確に説明していた	4 (0.9)	1 (3.8)	0 (0)	0 (0)	1 (0.5)	2 (1.8)						
あてはまらない												
あまりありあてはまらない	6 (1.3)	0 (0)	1 (1.2)	0 (0)	1 (0.5)	4 (3.5)						
まあまああてはまる	109 (23.7)	3 (11.5)	21 (24.7)	20 (47.6)	32 (16.6)	33 (28.9)						
あてはまる	341 (74.1)	22 (84.6)	63 (74.1)	22 (52.4)	159 (82.4)	75 (65.8)						
必要に応じてわかりやすくアドバイスや指導を行っていた	6 (1.3)	1 (3.8)	0 (0)	1 (2.4)	1 (0.5)	3 (2.6)						
あてはまらない												
あまりありあてはまらない	10 (2.2)	1 (3.8)	2 (2.4)	1 (2.4)	0 (0)	6 (5.3)						
まあまああてはまる	100 (21.7)	3 (11.5)	13 (15.3)	18 (42.9)	30 (15.5)	36 (31.6)						
あてはまる	344 (74.8)	21 (80.8)	70 (82.4)	22 (52.4)	162 (83.9)	69 (60.5)						
学生が実習先のスタッフと上手く関われるよう配慮していた	4 (0.9)	1 (3.8)	0 (0)	0 (0)	1 (0.5)	2 (1.8)						
あてはまらない												
あまりありあてはまらない	15 (3.3)	0 (0)	4 (4.7)	2 (4.8)	2 (1.0)	7 (6.1)						
まあまああてはまる	114 (24.8)	3 (11.5)	20 (23.5)	19 (45.2)	36 (18.7)	36 (31.6)						
あてはまる	327 (71.1)	22 (84.6)	61 (71.8)	21 (50.0)	154 (79.8)	69 (60.5)						
学生の個別性にあわせて指導していた	5 (1.1)	1 (3.8)	0 (0)	2 (4.8)	1 (0.5)	1 (0.9)						
あてはまらない												
あまりありあてはまらない	22 (4.8)	1 (3.8)	3 (3.5)	4 (9.5)	3 (1.6)	11 (9.6)						
まあまああてはまる	113 (24.6)	2 (7.7)	16 (18.8)	22 (52.4)	36 (18.7)	37 (32.5)						
あてはまる	320 (69.6)	22 (84.6)	66 (77.6)	14 (33.3)	153 (79.3)	65 (57.0)						
どの学生にも平等に接していた	6 (1.3)	1 (3.8)	0 (0)	1 (2.4)	1 (0.5)	3 (2.6)						
あてはまらない												
あまりありあてはまらない	16 (3.5)	1 (3.8)	4 (4.7)	0 (0)	2 (1.0)	9 (7.9)						
まあまああてはまる	107 (23.3)	3 (11.5)	20 (23.5)	20 (47.6)	33 (17.1)	31 (27.2)						
あてはまる	331 (72.0)	21 (80.8)	61 (71.8)	21 (50.0)	157 (81.3)	71 (62.3)						

表14 学外実習 [授業全体：学科専攻別]

項目	全体		家政専攻		介護福祉専攻		食物栄養専攻		幼児教育学科		看護学科	
	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
授業全体	460	26	85	42	193	114						
回答数												
課題の内容や量は適切であった												
あてはまらない	7 (1.5)	1 (3.8)	0 (0)	0 (0)	1 (0.5)	5 (4.4)						
あまりあてはまらない	17 (3.7)	0 (0)	1 (1.2)	1 (2.4)	1 (0.5)	14 (12.3)						
まあまああてはまる	123 (26.7)	4 (15.4)	21 (24.7)	23 (54.8)	28 (14.5)	47 (41.2)						
あてはまる	313 (68.0)	21 (80.8)	63 (74.1)	18 (42.9)	163 (84.5)	48 (42.1)						
この実習で得た内容は有用であった												
あてはまらない	2 (0.4)	1 (3.8)	0 (0)	0 (0)	1 (0.5)	0 (0)						
あまりあてはまらない	6 (1.3)	0 (0)	1 (1.2)	0 (0)	0 (0)	5 (4.4)						
まあまああてはまる	65 (14.1)	1 (3.8)	13 (15.3)	11 (26.2)	18 (9.3)	22 (19.3)						
あてはまる	387 (84.1)	24 (92.3)	71 (83.5)	31 (73.8)	174 (90.2)	87 (76.3)						
シラバスの到達目標を達成できた												
あてはまらない	2 (0.4)	1 (3.8)	0 (0)	0 (0)	1 (0.5)	0 (0)						
あまりあてはまらない	9 (2.0)	0 (0)	1 (1.2)	1 (2.4)	1 (0.5)	6 (5.3)						
まあまああてはまる	137 (29.8)	3 (11.5)	28 (32.9)	21 (50.0)	33 (17.1)	52 (45.6)						
あてはまる	312 (67.8)	22 (84.6)	56 (65.9)	20 (47.6)	158 (81.9)	56 (49.1)						
総合的にこの実習に満足している												
あてはまらない	2 (0.4)	1 (3.8)	0 (0)	1 (2.4)	1 (0.5)	2 (1.8)						
あまりあてはまらない	9 (2.0)	0 (0)	2 (2.4)	1 (2.4)	1 (0.5)	6 (5.3)						
まあまああてはまる	137 (29.8)	2 (7.7)	19 (22.4)	17 (40.5)	20 (10.4)	32 (28.1)						
あてはまる	312 (67.8)	23 (88.5)	64 (75.3)	23 (54.8)	171 (88.6)	74 (64.9)						

(2) 設問項目「授業にまじめに取り組んだ」の講義形態別・学科専攻別の割合比較

表15に授業形態別にみた「授業にまじめに取り組んだ」を示す。

学生自身の取り組みをみる設問項目「授業にまじめに取り組んだ」について講義形態別に「あてはまる」と回答した割合を比較すると、食物栄養専攻以外の学科専攻等では、講義より実験・実習・演習が、実験・実習・演習より学外実習が高い割合になっている。

(3) 設問項目「総合的に満足している」の講義形態別・学科専攻別の割合比較

表16に授業形態別にみた「授業の総合的な満足度」を示す。

学生自身の取り組みをみる設問項目「総合的に満足している」に「あてはまる」と回答した割合は、講義及び学外実習で7割弱、実験・実習・演習では8割弱であった。

(4) 設問項目間の相関係数の比較

講義について、表17に設問項目間の相関係数を示した。相関係数が0.7以上を相関があるとして、設問14「総合的にこの授業に満足している」と相関がある設問項目を表17-1に、その他相関のある設問項目を表17-2に示す。

実験・実習・演習について、表18に設問項目間の相関係数を示した。相関係数が0.7以上を相関があるとして、設問13「総合的にこの授業に満足している」と相関がある設問項目を表18-1に、その他相関のある設問項目を表18-2に示す。

学外実習について、表19に設問項目間の相関係数を示した。相関係数が0.7以上を相関があるとして、設問14「総合的にこの授業に満足している」と相関がある設問項目を表19-1に、その他相関のある設問項目を表19-2に示す。

(5) 自由記載

表20に学習環境についての自由記載について示す。

て示す。

ホワイトボードに使用するマーカーのインクの薄さの改善を求める自由記載が、学科専攻を問わずその記載があった。

考 察

講義科目について学生は、まじめに取り組んだと評価しているが、予習復習といった主体的な学修への取り組みについての評価は低い傾向にある。そのような中で予習復習を行っている傾向にあるのは看護学科である。講義科目の授業内容については分かりやすく理解できたとする学生が多く、講義の有用性や満足度も高いことから、講義は学生に対して満足のいく授業が概ねできていると考えられる。特に評価が高かったのは、介護福祉専攻と幼児教育学科である。

実験・実習・演習科目について学生は、学生同士協力してまじめに取り組んだと評価しているが、予習についての評価は講義科目同様に低い傾向にある。実験・実習・演習科目の授業内容については、多くの学生が説明の分かりやすさ等に高い評価をあげており、科目の有用性及び満足度も高い傾向にある。特に評価が高かったのは、家政専攻と介護福祉専攻そして幼児教育学科である。

学外実習科目については、多くの学生がこれまでの学習内容を活用しながら学生同士協力してまじめに取り組んだと評価している。特に評価が高かったのは幼児教育学科であり、学外実習科目を有用であったとする評価が最も高いのも幼児教育学科である。

満足であるという評価を授業形態ごとに比較すると、講義科目より実験・実習・演習科目が、実験・実習・演習科目より学外実習科目の評価が高くなる傾向にある。これは知識が技能にいかされるカリキュラム体制の評価と捉えることができる。また体験的で主体的な学びの授業体制に学生の満足度が高いとも考えられる。

表15 授業にまじめに取り組んだ〔学科専攻・基礎教養別、授業形態別〕

項目	全体	基礎教養	家政専攻	介護福祉専攻	食物栄養専攻	幼児教育学科	看護学科
回答数(人)	4093	586	733	485	505	507	1333
	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
講義							
あてはまらない	16 (0.4)	7 (1.2)	5 (0.7)	0 (0)	2 (0.4)	1 (0.2)	1 (0.1)
あまりありあてはまらない	68 (1.7)	18 (3.1)	15 (2.0)	8 (1.6)	9 (1.8)	5 (1.0)	13 (1.0)
まあまああてはまる	1236 (30.2)	208 (35.5)	223 (30.4)	119 (24.5)	203 (40.2)	131 (25.8)	369 (27.7)
あてはまる	2773 (67.7)	353 (60.2)	490 (66.8)	358 (73.8)	291 (57.6)	370 (73.0)	950 (71.3)
回答数(人)	2849	539	401	306	298	1186	1119
実験・実習・演習							
あてはまらない	8 (0.3)	2 (0.4)	1 (0.2)	1 (0.3)	1 (0.3)	3 (0.3)	0 (0)
あまりありあてはまらない	21 (0.7)	4 (0.7)	4 (1.0)	2 (0.7)	4 (1.3)	5 (0.4)	2 (1.7)
まあまああてはまる	523 (18.4)	121 (22.4)	79 (19.7)	46 (15.0)	84 (28.2)	173 (14.6)	20 (16.8)
あてはまる	2297 (80.6)	412 (76.4)	317 (79.1)	257 (84.0)	209 (70.1)	1005 (84.7)	97 (81.5)
回答数(人)	460	26	85	42	193	114	
学外実習							
あてはまらない	1 (0.2)		1 (3.8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
あまりありあてはまらない	3 (0.7)		0 (0)	2 (2.35)	0 (0)	0 (0)	1 (0.9)
まあまああてはまる	62 (13.5)		2 (7.7)	10 (11.8)	15 (35.7)	18 (9.3)	17 (14.9)
あてはまる	394 (85.7)		23 (88.5)	73 (85.9)	27 (64.3)	175 (90.7)	96 (84.2)

表16 総合的に満足している「学科専攻・基礎教養別、授業形態別」

項目	全体	基礎教養	家政専攻	介護福祉専攻	食物栄養専攻	幼児教育学科	看護学科
回答数(人)	4093	586	733	485	505	507	1333
	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
講義							
あてはまらない	47 (1.1)	11 (1.9)	11 (1.5)	3 (0.6)	5 (1.0)	4 (0.8)	13 (1.0)
あまりありあてはまらない	135 (3.3)	43 (7.3)	15 (2.0)	11 (2.3)	16 (3.2)	7 (1.4)	43 (3.2)
まあまああてはまる	1131 (27.6)	220 (37.5)	195 (26.6)	100 (20.6)	166 (32.9)	97 (19.1)	365 (27.4)
あてはまる	2780 (67.9)	312 (53.2)	512 (69.8)	371 (76.5)	318 (63.0)	399 (78.7)	912 (68.4)
回答数(人)	2849	539	401	306	298	1186	1119
実験・実習・演習							
あてはまらない	16 (0.6)	3 (0.6)	5 (1.2)	1 (0.3)	4 (1.3)	3 (0.3)	0 (0)
あまりありあてはまらない	28 (1.0)	9 (1.7)	4 (1.0)	2 (0.7)	6 (2.0)	3 (0.3)	4 (0.3)
まあまああてはまる	605 (21.2)	158 (29.3)	64 (16.0)	52 (17.0)	105 (35.2)	191 (16.1)	35 (29.4)
あてはまる	2200 (77.2)	369 (68.5)	328 (81.8)	251 (82.0)	183 (61.4)	989 (83.4)	80 (67.2)
回答数(人)	460	26	85	42	193	114	
学外実習							
あてはまらない	2 (0.4)		1 (3.8)	0 (0)	1 (2.4)	1 (0.5)	2 (1.8)
あまりありあてはまらない	9 (2.0)		0 (0)	2 (2.4)	1 (2.4)	1 (0.5)	6 (5.3)
まあまああてはまる	137 (29.8)		2 (7.7)	19 (22.4)	17 (40.5)	20 (10.4)	32 (28.1)
あてはまる	312 (67.8)		23 (88.5)	64 (75.3)	23 (54.8)	171 (88.6)	74 (64.9)

※但し、家政専攻には養護教育専攻を、看護学科には地域看護学専攻及び助産学専攻を含む。

表17-1 設問「総合的にこの授業に満足している」と相関がある設問項目 [講義]

設問14「総合的にこの授業に満足している」	設問6「講義の内容は理解できた」
	設問7「教員の説明は分かりやすかった」
	設問8「黒板, 教科書, プリントやAV機器の使い方が効果的であった」
	設問12「この講義で得た内容は有用であった」

表17-2 相関のある設問項目 [講義]

設問7「教員の説明は分かりやすかった」	設問6「講義の内容は理解できた」
	設問8「黒板, 教科書, プリントやAV機器の使い方が効果的であった」
	設問9「教員は学生の質問や発言に適切に対応していた」
	設問10「教員の声の大きさやスピードは適切であった」
設問9「教員は学生の質問や発言に適切に対応していた」	設問7「教員の説明は分かりやすかった」
	設問8「黒板, 教科書, プリントやAV機器の使い方が効果的であった」
	設問10「教員の声の大きさやスピードは適切であった」
設問8「黒板, 教科書, プリントやAV機器の使い方が効果的であった」	設問7「教員の説明は分かりやすかった」
	設問9「教員は学生の質問や発言に適切に対応していた」
設問10「教員の声の大きさやスピードは適切であった」	設問7「教員の説明は分かりやすかった」
	設問9「教員は学生の質問や発言に適切に対応していた」
設問3「予習をしてから講義に臨んだ」	設問4「講義後に復習をした」

表18-1 設問「総合的にこの授業に満足している」と相関がある設問項目 [実験・実習・演習]

設問13「総合的にこの授業に満足している」	設問9「教員は学生の質問や発言に適切に対応していた」
	設問11「この実験・実習・演習で得た内容は有用であった」

表18-2 相関のある設問項目 [実験・実習・演習]

設問9「教員は学生の質問や発言に適切に対応していた」	設問6「教員の説明は分かりやすかった」
	設問10「教員は安全についての指導や配慮を十分にしていた」
	設問13「総合的にこの授業に満足している」
設問10「教員は安全についての指導や配慮を十分にしていた」	設問9「教員は学生の質問や発言に適切に対応していた」
	設問11「この実験・実習・演習で得た内容は有用であった」
設問11「この実験・実習・演習で得た内容は有用であった」	設問10「教員は安全についての指導や配慮を十分にしていた」
	設問13「総合的にこの授業に満足している」
設問4「実験・実習・演習の目的や目標が明確に示されていた」	設問5「実験・実習・演習は計画的に展開されていた」

表19 学外実習の設問項目間の相関係数

	学生自身				授業内容				授業全体					
	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14
設問1	1	0.673	0.552	0.540	0.567	0.448	0.484	0.469	0.424	0.412	0.420	0.555	0.428	0.533
設問2	0.673	1	0.559	0.523	0.531	0.460	0.475	0.490	0.493	0.437	0.421	0.540	0.478	0.548
設問3	0.552	0.559	1	0.766	0.646	0.456	0.420	0.462	0.478	0.363	0.457	0.508	0.489	0.470
設問4	0.540	0.523	0.766	1	0.712	0.494	0.468	0.490	0.499	0.399	0.484	0.502	0.519	0.521
設問5	0.567	0.531	0.646	0.712	1	0.647	0.596	0.588	0.606	0.554	0.603	0.595	0.617	0.631
設問6	0.448	0.460	0.456	0.494	0.647	1	0.752	0.732	0.651	0.679	0.627	0.666	0.622	0.655
設問7	0.484	0.475	0.420	0.468	0.596	0.752	1	0.738	0.717	0.692	0.658	0.625	0.570	0.692
設問8	0.469	0.490	0.462	0.490	0.588	0.732	0.738	1	0.720	0.711	0.619	0.606	0.553	0.629
設問9	0.424	0.493	0.478	0.499	0.606	0.651	0.717	0.720	1	0.704	0.640	0.572	0.612	0.689
設問10	0.412	0.437	0.363	0.399	0.554	0.679	0.692	0.711	0.704	1	0.630	0.603	0.527	0.645
設問11	0.420	0.421	0.457	0.484	0.603	0.627	0.658	0.619	0.640	0.630	1	0.581	0.593	0.691
設問12	0.555	0.540	0.508	0.502	0.595	0.666	0.625	0.606	0.572	0.603	0.581	1	0.601	0.741
設問13	0.428	0.478	0.489	0.519	0.617	0.622	0.570	0.553	0.612	0.527	0.593	0.601	1	0.648
設問14	0.533	0.548	0.470	0.521	0.631	0.655	0.692	0.629	0.689	0.645	0.691	0.741	0.648	1
学生自身														
授業内容														
授業全体														

	[あなた自身について]	[授業の内容について]	[授業全体について]
1. この実習にまじめに取り組んだ	6. 実習の目的・目標・課題の必要性を明確に説明していた	11. 課題の内容や量は適切であった	
2. 学生同士協力して実習を行うことができた	7. 必要に応じてわかりやすくアドバイスや指導を行っていた	12. この実習で得た内容は有用であった	
3. 毎日実習を振り回り、それを生かして実習を行うことができた	8. 学生が実習先のスタッフと上手く関われるよう配慮していた	13. シラバスの到達目標を達成できた	
4. 今までの学習内容を活用しながら実習を行うことができた	9. 学生の個性にあわせて指導していた	14. 総合的にこの授業に満足している	
5. 実習の内容が理解できた（オリエンテーション、指導等から）	10. どの学生にも平等に接していた		

表19-1 設問「総合的にこの授業に満足している」と相関がある設問項目〔学外実習〕

設問14「総合的にこの授業に満足している」	設問12「この実習で得た内容は有用であった」
-----------------------	------------------------

表19-2 相関のある設問項目〔学外実習〕

設問8「学生が実習先のスタッフと上手く関わられるよう配慮していた」	設問6「実習の目的・目標・課題の必要性を明確に説明していた」
	設問7「必要に応じてわかりやすくアドバイスや指導を行っていた」
	設問9「学生の個別性にあわせて指導していた」
	設問10「どの学生にも平等に接していた」
設問9「学生の個別性にあわせて指導していた」	設問7「必要に応じてわかりやすくアドバイスや指導を行っていた」
	設問8「学生が実習先のスタッフと上手く関わられるよう配慮していた」
	設問10「どの学生にも平等に接していた」
設問7「必要に応じてわかりやすくアドバイスや指導を行っていた」	設問6「実習の目的・目標・課題の必要性を明確に説明していた」
	設問8「学生が実習先のスタッフと上手く関わられるよう配慮していた」
	設問9「学生の個別性にあわせて指導していた」
設問4「今までの学習内容を活用しながら実習を行うことができた」	設問3「毎日実習を振り返り、それを生かして実習を行うことができた」
	設問5「実習の内容が理解できた(オリエンテーション、指導等から)」
設問6「実習の目的・目標・課題の必要性を明確に説明していた」	設問7「必要に応じてわかりやすくアドバイスや指導を行っていた」
	設問8「学生が実習先のスタッフと上手く関わられるよう配慮していた」
設問10「どの学生にも平等に接していた」	設問8「学生が実習先のスタッフと上手く関わられるよう配慮していた」
	設問9「学生の個別性にあわせて指導していた」

表20 学習環境についての自由記載(単位:人)

学科専攻	マーカーの薄さ	空調
全体	11	1
基礎教養	4	
家政専攻	1	
介護福祉専攻	2	
食物栄養専攻	2	
幼児教育学科	1	1
看護学科	1	

設問項目間の関係から講義科目では、教材機器の効果的な使用や分かりやすい説明、理解できたと感じたり、有用性を感じたりすることは、授業の満足度と関係している。また、教員の説明の分かりやすさは、授業内容の理

解しやすさはもちろんのこと、教材機器の有効的な使用のほか、学生の質問や発問への適切な対応、教員の授業を行ううえでの声の大きさやスピードの適切さとも関係している。

実験・演習・実習科目では、授業の満足度と関係があったのは、教員の学生への適切な対応や授業に対する有用感である。教員の学生への適切な対応と関係があったのは、教員の説明のわかりやすさや安全についての指導や配慮であり、実験・演習・実習科目においては、細やかな学生への配慮が満足度に繋がっている。

学外実習科目で一番多くの設問項目と相関が認められたのは、学生が実習先のスタッフと上手く関わられるように配慮していたかといった教員の取り組みである。これと関係が

あったものは、実習の目的等の明確な説明、必要に応じたわかりやすい指導や学生の個性にあわせた指導、学生への平等な接し方といった内容である。学外実習科目においては、特に学生ひとり一人に対するきめ細やかな対応が求められている。

自由記載のホワイトボードに使用するマーカーのインクが薄いという内容については、学修環境改善の観点からその内容をFD委員会から財務・庶務課へ報告した。これに対しマーカーの円滑な交換が必要との見解に至り、各教室に薄くなったマーカーを破棄する容器（右写真）が学内の全ホワイトボードの隅に設置され、毎朝清掃業者により行われる清掃時にマーカーの回収及び補充が行われるようになった。



まとめ

ここでは2021年度授業改善アンケートの全体集計の結果報告を行った。科目ごとの個別集計評価も重要であるが、全体集計による評価も全体や学科専攻別の授業評価の傾向を捉えることができ、授業評価としての一翼を担うことができると考える。

現在の授業改善アンケートの課題としては、匿名式であることによりGPA値など学業成績と授業評価の関連について検証できないことがあげられる。授業評価と学業成績を関連づけて検証することの必要性は示唆されており²⁾、実際に授業評価と学業成績を用いた分析には、満足度とGPA値の関連をみたもの³⁾や、離籍退学に繋がる可能性の高い学生を洗い出すことができた⁴⁾とする報告もあ

る。また今回はクロス集計間の割合比較と設問項目間の相関係数を用いた分析により考察したが、授業評価の分析方法は様々に提案がされており^{5,6)}、本学の授業評価が授業の質の向上に繋がる適切な分析方法を構築していきたい。FD委員会として、これからも授業改善アンケートのデータ収集を十分に行い、適切に集計分析した結果を授業の質の向上に活用することで、全ての授業が学生にとって理解しやすく、履修してよかったと評価されることをめざしたい。

文 献

- 1) 上田太郎, 小林真紀, 淵上美喜: Excelで学ぶ回帰分析入門, オーム社, 東京都, 2009, p.62
- 2) 澤田忠幸: 学生による授業評価の課題と展望. 愛知県立医療技術短期大学紀要, 7 (1), 13-19, 2010.
- 3) 石井多恵子: WEB化による授業評価アンケートの変化-データ活用の展望-. 関西現代政策研究, 12 (1), 135-150, 2019.
- 4) 牧野雅, 児島完二: 授業評価アンケートの全面Web化による効果: 大学IRへ. 大学ICT推進協議会年次大会論文集, 2016.
https://axies.jp/_files/report/publications/papers/papers2016/WF23.pdf (2023.2.14 閲覧)
- 5) 保田洋, 吉田景一: 授業アンケートにおける効果的評価方法の提案. 甲子園短期大学紀要, 36, 11-16, 2018.
- 6) 阿部武彦, 田嶋拓也, 木村春彦: 多変量解析による授業アンケート分析と授業改善に関する考察. 工学教育, 54 (6), 136-140, 2006.